

アデカラスキュア HS - 680

耐熱性光造形用樹脂

【特徴】

アデカラスキュアHS - 680は高精度・高強度・高耐熱性のエポキシ系光造形用樹脂です。

LD励起UV固体レーザー（発振波長355nm）及びアルゴンレーザー共に使用可能です。

従来の樹脂では使用できなかった高温環境下での使用に耐えます。

伸び性も改良しており、幅広い用途に使用する事ができます。

【使用方法】

アデカラスキュアHS - 680は、造形後のUVによるポストキュアは不要です。

より高度な物性を得るためには造形・洗浄後に、熱によるポストキュアをする必要があります。

ポストキュア条件は造形物の形状を考慮して決める必要があります、以下に代表的な条件を示しますが、最適な昇温速度等につきましては後日技術情報としてお知らせ致します。

推奨ポストキュア条件：100 × 4時間 もしくは120 × 2時間

【液状樹脂特性】（代表値）

外観：淡黄色透明液体

粘度：380 cps/25

比重：1.15/25

【関連法規】

毒物劇物取締法：別表第2の94、毒物及び劇物指定令第2条の7の劇物に該当

（アミン化合物及びこれを含有する製剤）

【硬化物特性】

固体レーザーを用いて硬化した場合（代表値）

試験項目	ホースキア前 ^a	ホースキア後 ^b	試験規格
引っ張り強度(Kgf/cm ²)	800	770	JIS K7161、7162
引っ張り弾性率(Kgf/cm ²)	23,800	23,200	同上
破断伸び(%)	6.7	8.3	同上
曲げ強度(Kgf/cm ²)	1,000	870	JIS K7171
曲げ弾性率(Kgf/cm ²)	32,000	29,500	同上
Izod 衝撃強度(Kgf・cm/cm ²) (ノッチ付き)	2.9	3.3	JIS K7110
荷重たわみ温度() (試験の種類 A法)	56	100	JIS K7191

a : 造形後1週間後、 b : 120 × 2時間ホースキア後

アルゴンレーザーを用いて硬化した場合（代表値）

試験項目	ホースキア前 ^a	ホースキア後 ^b	試験規格
引っ張り強度(Kgf/cm ²)	800	700	JIS K7161、7162
引っ張り弾性率(Kgf/cm ²)	24,200	21,000	同上
破断伸び(%)	6.8	6.2	同上
曲げ強度(Kgf/cm ²)	960	980	JIS K7171
曲げ弾性率(Kgf/cm ²)	31,100	30,100	同上
Izod 衝撃強度(Kgf・cm/cm ²) (ノッチ付き)	2.1	3.5	JIS K7110
荷重たわみ温度() (試験の種類 A法)	56	98	JIS K7191

a : 造形後1週間、 b : 120 × 2時間ホースキア後